



ベトナムの旧正月「テト」とお年玉

北陸銀行 国際部
ホーチミン駐在員事務所
グエン・ゴク・ビン・アン

1. はじめに

ベトナムでは日本と異なり、旧暦に基づいてお正月を祝う習慣があります。この旧正月期間は「テト」と呼ばれ、ベトナムで生活する人にとって1年間で最も長い休暇になり、新年を迎えるための大切な期間として認識されています。ベトナムは日本と比べて祝日が少なく、年間11日（日本は年間16日）しかありません。その中で最も長い連休となるのがこのテトの期間になります。

2. 新年のお祝い

テトの時期になると、大半の人は新年を家族と一緒に迎えるために帰省します。この時期は、大都市と地方を結ぶ長距離バスや鉄道の路線は非常に混雑します。そのため、多くの企業がテトの公休日より2、3日早く休暇を開始したり、2、3日遅く営業を再開したりする対応を行い、混雑を回避する努力をします。結果として、ベトナムでは「テト休暇がある月は仕事が進まない」ということが広く認識されています。

テトの時期になると、オフィスビルや商店など各建物の入口には、幸福と繁栄をもたらす「桃」や「金柑」の木が飾られます。また、街中は帰省するためにお土産を求める人々で賑わい、一年を通して最も華やかで活気のある風景が広がります。



【華やかに飾り付けられたホテルや
オフィスのエントランス(筆者撮影)】

3. ベトナムのお年玉事情

テトの習慣とえば、「お年玉」は欠かせません。ベトナムでは、お年玉のことを「Lì xì (リーシー)」と呼び、「幸福」や「幸運」を願う意味合いが込められています。別名「ラッキーマネー」とも言われます。

テトの期間中にショッピングセンターや市場を訪れるとお年玉袋がずらりと並んでいるのを目にすることができます。ベトナムのお年玉袋の特徴は、赤や黄色、ゴールドなど派手な色使いで、漢字やベトナム語で「福」や「新年を祝う言葉」が記されていることです。テト期間に登場するベトナムの伝統料理「バインチュン」や「バインテト」、その年の干支をモチーフにしたデザインもあり、外国人観光客のベトナム土産として人気があります。



【ベトナムのお年玉袋(筆者撮影)】

金額の目安は、小さい子供に渡す場合は50,000ドン(約300円)程度です。大人に渡す場合は最低50,000ドン、部下やドライバー、お手伝いさんには100,000ドン(約600円)から1,000,000ドン(約6,000円)です。お年玉を渡す際の紙幣は50,000ドン、200,000ドン(約1,200円)紙幣が赤色で縁起がいいとされています。

このようにベトナムでは、会社の上司が部下にお年玉を配ります。また、日頃の感謝を込めて、年下の友人やドライバー、お手伝いさん、アパートのドアマンなどに対してもお年玉を配ります。

ベトナム独自のお年玉文化を通じて、社会全体が貧富の差解消に対する理解が大きいことや困っている人を思いやり助け合う「相互扶助」の精神が先祖代々受け継がれていることを感じることができます。

4. おわりに

ベトナムのテト休暇は、日本で例えると盆休みと正月休みが一緒に来るイメージです。テトの期間はベトナム各地でテトをお祝いする催事や花火大会などが開催され、街全体が祝賀ムードに包まれます。皆さんも是非テトの時期にベトナムに遊びに来てください。この時期ならではの体験ができるのでお勧めします。

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださいますようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp